

令和4年度スマートアイランド推進実証調査における取組概要

獅子島 (鹿児島県長島町)

ICT技術を活用した
獅子島空き家対策プロジェクト

島内人口：689人(H27)

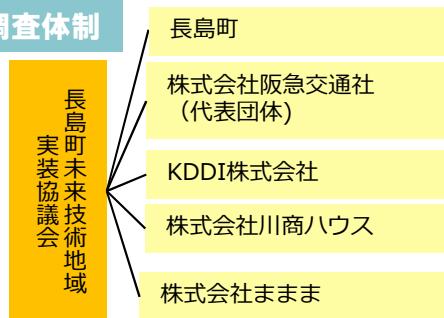
《概 要》

島の課題

- 人口減少に伴い、危険家屋も含めた島内の空き家の数が増加。
- 空き家の実態は把握が難しく、「いつか戻るかもしれない」「先祖の仏壇があるため譲るに譲れない」等といった事情で不動産物件として登録・公開に至れない物件情報も多い。
- 島外からのU・Iターンの問い合わせは増えているが空き家の情報を知る手段が少ない。
- 物件に関する確認や相談のため、現地へ訪れることも地理的条件からハードルが高い。



調査体制



主な取組概要

ICT技術を活用した相談体制・情報提供

webカメラによる相談やVR技術を活用した現地内見体験により、移住・定住を検討している方が遠隔で相談を受けられる体制を構築する。また、大都市圏や地方都市においてVR技術を活用した移住相談会を開催し、情報発信に活用する。



VR移住相談会



遠隔相談窓口の開設

目指す姿・期待する効果

○ICTを活用した空き家情報の管理・提供体制の構築

獅子島内の空き家情報のデータベース化を行い、U・Iターン者を初めとした移住・定住希望者への情報提供を促進する。

○移住・定住希望者への支援強化⇒島への移住・定住の促進

データベースやVR技術等の活用により、島の魅力を詳細に伝えつつきめ細やかな相談対応を行う体制を整えることで、移住・定住検討者の不安・疑問を解消しつつ着実に移住・定住に繋げていく仕組みの構築を目指す。

また、不動産会社と自治体が協働することで、離島の空き家を生かした移住支援を持続的にすすめる官民連携のモデル構築の一助となる。

